

2022 年 8 月 26 日

ロボット支援下直腸切除の保険申請に関するお知らせ
(「超低位前方切除術」および「経肛門吻合を伴う切除術」の件)

2022 年 3 月 14 日に次頁の注意喚起を発出しましたが、下記の厚生労働省保険局医療課の事務連絡の通り、2022 年 3 月までと同様に、K740-2 の「2」低位前方切除においてロボット支援下直腸切除の超低位前方切除術および経肛門吻合を伴う切除術を保険診療として施行することができることになりましたので、お知らせいたします。

記

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00037.html

厚生労働省 令和 4 年度診療報酬改定について

第 3 関係法令等 【省令・告示】(それらに関連する通知・事務連絡を含む。)

[【事務連絡】\(7\) 23 疑義解釈資料の送付について \(その 23\) 令和 4 年 8 月 24 日](#)

【腹腔鏡下直腸切除・切断術】

問 5 区分番号「K 7 4 0 - 2」腹腔鏡下直腸切除・切断術の「2」低位前方切除において、超低位前方切除術又は経肛門吻合を伴う切除術を内視鏡手術用支援機器を用いて実施した場合、どのように算定するのか。

(答) 腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)の施設基準に係る届出を行っている場合、区分番号「K 7 4 0 - 2」腹腔鏡下直腸切除・切断術の「2」低位前方切除を算定可能。

以上

一般社団法人 日本内視鏡外科学会

理事長 坂井 義治

ロボット支援手術検討委員長 竹政伊知朗

2022 年 3 月 14 日

ロボット支援下直腸切除の保険申請に関する注意喚起
(「超低位前方切除術」および「経肛門吻合を伴う切除術」の件)

2022 年度診療報酬改定にて、K740-2 直腸切除・切断術（腹腔鏡下）に「3 超低位前方切除術 91,470 点」および「4 経肛門吻合を伴う切除術 100,470 点」が新設されます。

この新設は腹腔鏡下手術に対するもので、ロボット支援下手術で施行した症例は対象となりません。ロボット支援下での症例を K740-2 の 3 や K740-2 の 4 で保険申請することのないよう、学会会員の皆様におかれましては十分ご注意ください。

なお、ロボット支援下症例の保険申請に関してご不明の点がございましたら、各地域の厚生局にご確認くださいますようお願いいたします。

一般社団法人 日本内視鏡外科学会
理事長 坂井 義治
ロボット支援手術検討委員長 竹政伊知朗